

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立瀬戸高等支援学校	実践者名	三枝・安東・松下
実践場面 (教科、領域、行事等)	1年 情報		
単元・題材名	プレゼンテーションの資料作成と発表		
学習目標・ねらい	- 文書作成の経験を生かして、スライドに文字を入力することができる。 - 手順書を元に、文字や図の大きさや配置、文字の太さや色、種類等を変更し、見本と同様のスライドを作成することができる。 「学校のいいところ」について、見る人の立場に立ち（見やすさ、伝え方を意識して）自分の思いを簡潔に記したり、アニメーションを付けたりすることができる。		
対象の児童 生徒の実態	1年生徒（1クラス8名×5クラス） 軽度知的障害（ワードでの文章作成は経験済み）		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
- 使用ソフト…パワーポイント iPad（ロイロノート） - 作成するプレゼンテーション（10スライド程度） ほとんどのスライドは、入力する文字や挿入する図を指定し、おおまかな配置も示す。文字はフォントの種類や大きさ、飾りつけ（太字や下線・文字色や網掛けなど）等を指定し、それらの操作方法を生徒の一人一台端末（iPad）に配布。 - 手順書 PDF 複数枚（ページ）のPDFの手順書を作成。生徒は、1つの操作が終わる度に次ページへ進む（スライドさせて見る）ことで、プレゼンテーションを作成していくことができるようにした。途中「学校のいいところ」など生徒が自由に入力できるスライドも用意する。			
住所 〒709-0854 - 岡山市東区瀬戸町江尻1326番地 - TEL (086) 952-5633 ★テキストに入力 〒は郵便番号と入力して変換 - 大文字アルファベットはシフトキーを押しながら入力 () はシフトキー押しながら8, 9のキー ヒント - 文字の大きさ、文字の色（変更したい文字を選択すること）  - 枠の色 ①枠をクリック 			
活用のポイント・改善策等			
- パワーポイントで作成した資料を（保存形式を変更して）PDFに変換し、メールでiPadに送信→ロイロノートに保存→生徒に配布した。資料は説明用スライドとして作成したものを一部変更したのみなので、作成や送信に大きな手間なく活用することができた。 - 生徒はiPad上の手順書を自分でスライドさせることで、個々の進度に合わせて操作を進めることができた。生徒が質問をする際にも「このページについて…」とiPadの画面をもとに質問をすることが多く、助言もiPadの画面を指し示したり、一部拡大したりしながらすることができ便利だった。 - 手順書の最後（または操作ごと）にチェック項目を設けていれば、作成後に生徒自身で確認がしやすかったのではと感じた。			